

2026年8月7日

リコーリース株式会社

<コード番号：8566 東証プライム市場>

ひとり親家庭の住居提供と自立支援を行う 「ひとり親家庭居住支援第2号ファンド」を組成

リコーリース株式会社（以下、当社）は、みずほ信託銀行株式会社（取締役社長：笹田 賢一）をはじめとした複数の企業・団体（※）と連携し、ひとり親家庭の居住支援および自立支援を目的とした「ひとり親家庭居住支援第2号ファンド」（以下「本ファンド」）を立ち上げましたので、お知らせいたします。

1. 本取り組みの概要

本ファンドは、2025年10月に組成した「ひとり親家庭居住支援第1号ファンド」に続く取り組みであり、不動産私募ファンドの仕組みを活用し、ひとり親家庭への住居提供とキャリア支援を行うものです。

2. 背景

日本では多くのひとり親家庭が子育てと就労を両立しており、特にひとり親世帯では生活基盤の安定や将来への不安が社会課題となっています。また、公的支援だけでは十分に対応しきれない課題も存在しており、民間による継続的な支援への期待が高まっています。

3. 支援内容について

本ファンドでは、住居の提供に加え、キャリア支援などの自立支援を通じて、ひとり親家庭が安心して暮らせる環境づくりを目指します。経済的・社会的な自立を後押しすることで、将来に対する不安の軽減と社会的価値の創出を図ります。

ソフト面の支援は、ひとり親家庭支援の実績が豊富なシングルスキッズ株式会社（代表取締役：山中 真奈氏）と一般社団法人日本シングルマザー支援協会（代表理事：江成 道子氏）が共同で提供します。両団体は「マインドアップ+スキルアップ」をコンセプトとした伴走型支援プログラムを展開し、入居

者の自立を支援します。

また、第 1 号ファンドで導入した定量評価の考え方を踏まえ、運用期間中は入居者の生活安定や自立に向けた変化を継続的にモニタリングします。住宅の提供にとどまらず、支援の成果を可視化することで、不動産投資を通じた社会的価値の創出をさらに推進してまいります。

4. 今後の取り組み

当社は、本ファンドを通じてひとり親家庭への支援を拡大し、社会課題の解決に貢献するとともに、当社のマテリアリティの一つである「豊かな暮らしをつくる」の実現を目指してまいります。

※ ファンドの概要および関係企業・団体

名称	ひとり親家庭居住支援第 2 号ファンド
運用期間	2026 年 8 月 1 日より 5 年間（予定）
総資産規模	約 80 億円
アセットマネージャー	みずほ不動産投資顧問株式会社
レンダー	株式会社みずほ銀行
ステップアップ支援法人	シングلزキッズ株式会社 一般社団法人日本シングルマザー支援協会
物件抛出者	株式会社 I H I 株式会社サンケイビル
出資企業	三菱 H C キャピタルリアルティ株式会社 リコーリース株式会社 ジェイリース株式会社 トーセイ株式会社 学校法人二松学舎 みずほ信託銀行株式会社

ご参考：

ひとり親家庭居住支援第 1 号ファンドの立ち上げについて

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL：050-1702-4203（直通） Email：ir@r-lease.co.jp